

鹿児島市薬剤師会の役割

鹿児島市薬剤師会では

- 夜間救急薬局の運営
(鴨池2丁目にあります)
- 学校薬剤師の活動支援
(照度、プールの塩素濃度測定などの環境検査等)
- 災害対策に関する支援
(人材育成や災害時の救援活動など)
- 働く世代の健康を支援
(大腸がん検査支援、健診支援、両立支援、環境改善など)
- 地域住民への講演活動(公民館などで開催)
- 「お薬相談」、「薬草展」などの開催
- 処方せんFAXコーナーの運営
(ご希望の薬局へFAXします)
- 薬剤師、薬学生の資質向上のための研修
- かかりつけ薬局の推進
(ぜひ、薬剤師を活用して下さい)

これらを通じて、鹿児島市民のみなさまの保健・医療・福祉の向上に寄与し、貢献することを目的として活動しております。

鹿児島市薬剤師会を、よろしく願います。

ご挨拶

皆様が健康な生活を送るための
身近な相談窓口であり続けます。

KPA 鹿児島市薬剤師会 会長 谷口 欣平



鹿児島市薬剤師会の860名余りの会員は、市民の皆様
の健康福祉の増進、医薬品の適正使用の為、薬局、
病院など様々な職場で地域医療の一翼を担っております。
特に薬局では、皆様の健康相談やセルフメディケー
ション、在宅医療など気軽に相談できる健康サポート
薬局の推進、そして患者様の処方箋、一般用医薬品、
健康食品等まで一元管理をして、副作用や医薬品が適正
に使用されているか確認できる「かかりつけ薬局・薬剤
師」を目指して日々努めております。今後は予防医学の
観点から健診事業の支援を進めることで、市民の皆様
の健康増進に貢献していきたいと考えます。引き続き
本会そして会員をお引き立て頂ければ幸甚に存じます。

2025年3月

活用しましょう! お薬手帳

持参しましょう!

- 同じ成分の薬が処方されていないか、飲み合わせ
が悪くないかチェックしてもらう事で、安心して薬を
使用することができます。

記入しましょう!

- 基本情報は必ず記入しましょう。
- お薬を飲んだ時の体調変化や気になったこと、また、
検査結果などを記入しておくことで役立ちます。

一冊にまとめましょう!

- 飲んでいる全てのお薬を1冊にまとめる
事で、効果的にチェックしてもらえます。

電子お薬手帳を活用してみましょう!

- 家族、介護している人の薬をまとめて管理するこ
とができます。
- アラーム機能を利用して、飲み忘れ防止に活用でき
ます。

副作用防止、急病・災害などの緊急時
お薬手帳は、あなたの命を守ります



夜間救急薬局のご案内

「鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局」の業務は、
夜間急病センターからの院外処方せん応需が主
ですが、夜間の当番歯科やその他の医療機関か
らの処方せんなども受け付けます。勤務してい
る薬剤師は、主に市薬剤師会の会員が協力を
して、ローテーションを組み運営しています。市民の方
からのお薬に関する問い合わせなどにも応じて
いますので、ぜひご利用ください。

鹿児島市薬剤師会夜間救急薬局

鹿児島市鴨池2-22-18 (鴨池交番隣)

tel.099-206-2811

fax.099-206-2812

(開局時間)

月～土：午後7時～翌朝7時
日祝日：午後6時～翌朝7時



ご存じですか?
くすりの正しい
使い方

私の専門は **薬** です



ふたたび、謎解きの幕が上がる。

薬屋のひとりごと

2025年第2期放送決定!

医薬品 & 家庭用医療機器のご相談にお答えします

PMDAの相談窓口 ☎ 03-3506-9425

相談受付時間

9:00～17:00

月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

くすり相談窓口 初めに① ▶次に②をプッシュ

医療機器相談窓口 初めに① ▶次に②をプッシュ



相談窓口のご案内

pmda 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency

くすり 相談 検索

家庭用医療機器 相談 検索



鹿児島市薬剤師会
公認キャラクター
「ふぁーくま先生」

お薬を通じて、地域の皆様の健康づくりに貢献します。かかりつけ薬局・薬剤師に
是非ご相談ください。お困りの際はくすりの相談窓口もご利用ください。



忙しい毎日を過ごすはたらく世代の皆様へ /
保険薬局で大腸がん対策の支援が始まります!!!

ご存じですか? がんや大腸がんについて

がんは2人に1人が罹患



予防や**早期発見**の取り組みが重要になります

罹患者・死亡者ともに上昇



大腸がんはがん種別死者数
女性 第1位 男性 第2位

大腸がん検診受診率は低い
陽性結果の**放置**も多い



毎年、実施で**死亡リスク**を
60-80%減少させる

薬局薬剤師が検査支援を実施いたします!

- 大腸がん検査を受けていない方**
1. 下記のQRコードより最寄りの実施薬局を検索
 2. 大腸がんやがん検査についての情報を確認する
 3. 薬局で**検査費1200円を支払い**、キットを受け取る
 4. 検体を提出する
 5. 結果を受け取り、対応を確認する

- 大腸がん検診を受け、結果の相談をしたい方**
- 例) 結果の見方が分からない。
陽性後そのままにしている。
1. 下記のQRコードより最寄りの実施薬局を検索
 2. 薬局に検診結果を持参し、薬剤師に相談を行う
 3. 検診結果の見方の説明や気になることを質問
 4. 検診結果に応じた対応を実施

ご自身が「青」「赤」のどちらに該当するか確認をして、実施をご検討ください

こちらのQRコードから、大腸がん検査支援事業に参加している薬局情報を確認できます。



本事業は、地域の健診受診率向上を目標に鹿児島市医師会と共同で実施しています

薬剤師の在宅医療



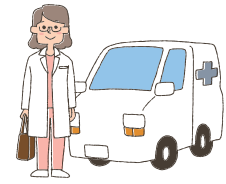
薬剤師は、病院や調剤薬局の中だけで仕事をしていると思っている人が多いかもしれませんが。実は、薬剤師は医師や看護師など様々な専門職と連携し、自宅で療養する患者さんのお宅に訪問する在宅医療も行っています。

薬剤師は、患者さんが適切に服薬できるようにサポートし、薬が患者さんの病状や日常生活に悪影響を及ぼしていないかを判断、評価しています。

例えば、薬の自己管理が難しい患者さんのお薬を飲みやすく整理し、一包化やお薬カレンダーを活用、飲みやすい剤形に変更を提案するなど行っています。

一人暮らしでお薬の管理が難しい方、介護の負担を減らしたいご家族などお近くの薬局にご相談ください。私たち薬剤師が、お薬の管理や健康相談を通じて皆さまの療養生活をサポートします。

鹿児島県薬剤師会ホームページから在宅訪問可能な薬局などの薬局検索ができます



選定療養制度について

令和6年10月から後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方希望される場合は、特別の料金をお支払いいただくことに保険制度が変わりました。

後発医薬品(ジェネリック医薬品)は、先発医薬品と有効成分が同じで、同じように使っていただけるお薬です。

先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の4分の1相当を、特別の料金として、医療保険の患者負担と合わせてお支払いいただくことになりました。

ただ、先発医薬品を処方・調剤する医療上の必要性があると認められる場合等は、特別の料金は要りませんのご安心ください。

選定療養制度や後発医薬品について気になるときは、お気軽にかかりつけ薬剤師にご相談ください。

先発医薬品 <small>※令和6年10月以降、医療上の必要性がある場合</small>	保険給付	患者負担
後発医薬品	保険給付	患者負担
先発医薬品 <small>※令和6年10月以降、患者が希望する場合</small>	保険給付	患者負担
		特別の料金

← 先発医薬品と後発医薬品の価格差価格差の1/4相当 →

引用:厚生労働省「後発医薬品のある先発医薬品(長期収載品)の選定療養について」 患者負担の総額

